

# 受験生の皆さんへ

吉田寮 ☆ 熊野寮自治会

受験に受られたすべての皆さんは大学に何を期待し、また何をするために大学進学を選択されたのでしょうか。多くの皆さんは、「大学は学問をするところだし、自分も学問をするために大学に来たのである。」と考えているだろうと思いますが、大学とは一体どんなところであり、自分はそこでどう生活し、何のために学ぶのか、といった事に対しては、入学以前からは、きりと認識している人は案外と少ないのではないのでしょうか。また一方では、「学歴社会」の中で、単に「いい」会社、「いい」職業に就くための通り道としての大学の現状が批判されています。このような状況の中、受験に受られた皆さんは、ある矛盾を感じながら大学進学の道を選ばれた訳だろうと思います。

私達、吉田寮熊野寮自治会は、すべての受験生の皆さんが、こうした大学の現実を直視する中で、矛盾を真正面から受けとめ、そして現在の日本の教育体制について、その本質を把握されることを訴えます。

## ■ 現在の教育体制とは

先述したことですが、今日「学歴社会」という言葉をよく目にします。「いい会社に入って出世するためには「いい」大学、「いい」大学に合格するためには「いい」高校、「いい」中学と全てが学歴づくめです。そして勉強とは上の学校へ合格するための手段と化し、要はいかにうまく受験テクニックを身につけるか、ということになっています。そしてこのテクニックを身につけるためには、学習塾、家庭教師、通信添削など多額の金が必要となってきます。すなわち、出世するためには金を積まなければならないという構図が出来上がっているのです。

これは非常に重大な問題です。つまり「教育=金で買うもの=金で買って××大学卒業の雇書を手に入れること」ができる一種の投資がごとき風俗で、高等

教育を受けられる条件の大半は、金の有無によつて決められてしまうのです。そして大学の高い高い授業料によつて、要するに「金の無いものは大学に来るな」とでも言えるような事になっていっているのです。

私達は、そもそも教育とは誰でも自由に受けられるものであり、経済的貧困者に対して固く閉ざされ、金がある者に入り開かれているという「教育の差別性」に憤りを感じます。

皆さんの中には奨学金があるから、あるいは授業料の免除があるから困らないのでは、と考える人もいると思いますが、これが実は曲者で、代償として様々な条件をつけ、単位制度と相まって、選ばれたものを「真面目」にやらせるための道具として、学生管理に用いられているのです。つまり、大学での勉強も高校までのそれと何ら変わらず、羊は強制的にわけのわからぬことを頭につめこまされるという訳です。

私達は何のため、誰のためということ抜きにして押しつけられる「学問」に強い疑問を抱いています。そして大学とは、小学校から高校へと羊は当然のものとして受け入れて来た「学問」を何のため、誰のためという視点から捉えなおす最後のとりでだと考えています。

このように腐敗した現在の教育体制を目のあたりにするとき、私達にはドス黒い大きなものが見えてくるのです。それは「能力主義」に基づいた「教育」というふるいわけの道具を使って、自分たちにとって都合のよい、「役に立つ」人間を能率的に養成し、同時にこのふるいによって人間を序列化し、現実の差別を正当化することによって分断支配を計らんとする政府-文部省と背後の資本家たちの意図なのです。そして、このふるいに引込まれるか否かは「金の有無」と自分達の意図に従うか否かという「従順さ」によつて、大

半が決められてしまうのです。

■ 寮は何故必要か

以上、「能力主義」的教育体制の貧困者の切り捨てという側面を見てきた訳ですが、このような教育体制の下で、私達、寮はいかなる任務を負っているのでしょうか。

それは第一に、金の有無による差別に対する一定の防波堤としての位置を守っていくことだと考えています。現在、一般下宿においては普通7〜8万円なければ生活できないという状態があります。すなわち、支送りの他にアルバイトをしないと生活が成り立たないという状況になっています。多くの学生にとって難しい状況になっている訳ですが、不景気の折、アルバイトもなかなか見つからず、苦勞している学生が多いのが現状です。こうした中において、食事と住居を保障し、どんなに貧乏でも、でも大学で教育を受けられるように用意されているのが寮なのである。(寮での生活費は最低、月2〜3万円が可能)

さる場として保障することが重要な任務であると考えているのです。

全ての受験生の皆さんが、私達の問題提起を真摯に受けとめ、そして合格が決つた際には、こそ、吉田寮、熊野寮に入寮され、私達と共に以上述べた寮自主管理運動に参加されることを訴えます。

★ 寮に関する説明会を行ないます。気軽に参加し、どのような質問でも自由にして下さい。

日程： 3月5日(水)

12時<sup>AM</sup>〜 ; 4時<sup>PM</sup>〜

※ご来行ないますので都合のよいほうへ参加して下さい。

場所： 吉田東寮寮食堂(地図を参照)

※なお不明な点は以下まで。

吉田東寮 TEL 751-4052

熊野寮 TEL 751-4050, 4051  
771-6291

番よく知っている寮生自身で決めるべきである」と考え、自分達を寮を自主的に管理、運営しています。ですから入寮選考も寮生自身の手によって行ない、一緒に生活する仲間を決めています。

ここで注意してほしいのは、以上の様な寮の形態が決して大学当局に望まれて出来上がったものではないということです。大学当局の意図は、それとは逆に、貧困学生に対する差別を黙殺する一方で、大学の完全管理の下で従順な学生を「養成」する場としての寮を作ろうとするところであり、現に、皆さん御存知の筑波大学の寮はそのような寮とされています。このような中では、貧困者の切り捨てが公然と行なわれる一方で、大学当局の決めぬにふなつた人ではないが寮に入れず、結局大学で生活できないという事態とも随ってしてしまうのです。

私達は、決してその様な差別は許さないと考えています。だからこそ寮を、自ら自主的に管理、運営して行く必要を感じています。そして目的は管理する中が

